

令和4年度 第2回学校運営協議会
(兼 高校と地域で創る未来の学びプロジェクト事業地域連携組織)
議 事 録

日時 令和4年11月28日(月) 13:30~16:00

場所 岡山県立勝間田高等学校 記念館3階会議室

(委員15名のうち11名が出席、岡山県教育庁高校教育課高校魅力化推進室 同席)

1 開会行事

- (1) 校長挨拶
- (2) 会長挨拶
- (3) 事務局より

2 授業参観・施設見学

3 報告

(1) 学校経営・組織編成に関する事項

- 令和4年度 学校経営計画書について
- 令和4年度 三つの方針(スクール・ポリシー)について
- 令和4年度 学校評価書(中間達成状況と評価)について

(2) 予算執行に関する事項

- 令和4年度の主な事業と予算(執行状況)について

(3) その他関連する事項

- 令和4年度 主な事業・取組等について

1. 行事等

(1) 勝央町関係

- ・勝央町役場前植栽やノースヴィレッジ花時計植栽など
- ・JR勝間田駅新駅舎へのプランター設置
- ・勝央町フードドライブへの協力

(2) 小・中学校との連携関係

- 勝央中学校
進路説明会(9/28(水))への参加
- 勝間田小学校・勝央北小学校
草花寄せ植え交流(5/10(火))
イモ学習交流(サツマイモ掘り)(10/20(水))
森林交流学习(5/18 事前交流、演習林(津山市加茂)交流は中止)

(3) 校内行事等

- 清風祭体育の部…6/22(火)非公開、午前中のみ開催
- 清風祭文化の部…11/19(土)家族限定公開、模擬店や飲食はなし、午前中開催
野菜・花・加工品等の販売を限定ながら復活
- 修学旅行…10/12(水)~14(金)東京方面完全実施
- オープンスクール…10/29(土)実施(中学生123人、保護者76人が参加)
- 農産物販売…タマネギ苗の販売(11/11)、シクラメンの販売(11/25)
- 加工品販売…事務室窓口販売、ゆのこうマルシェへの出店

(4) その他

- 福武財団助成事業「アグリ魅力化プロジェクト」成果発表会(11/24)生徒発表

- 「みま咲く未来フォーラム 2022 in 津山」(10/23) 生と発表
- 「おかやま ESD フォーラム 2022」(11/19) 生徒発表
- 「高校生探究フォーラム 2022」(12/24) 生徒発表
- 日本伐木チャンピオンシップ青森(5/21・22) 生徒出場
- 高校生ものづくりコンテスト自動車整備部門(6/4) 生徒出場
- 高校生ものづくりコンテスト溶接部門(12/18) 生徒出場
- 森林を考える岡山県民のつどい(10/22) 生徒ブース参加

2. 情報発信

- (1) 地域協働活動コーディネーターによる SNS (Facebook、Instagram) での情報発信
- (2) 学校ホームページの刷新
- (3) 正門横看板の刷新
- (4) 「広報しようおう」紙面の提供

3. 令和4年度進路指導状況の報告

(質問等は特になし)

4 協議

【議長】

本日は協議題として、「勝間田高校と地域との共栄」ということで協議を進めたい。今回は3つのグループで協議し、その後、各グループで協議した内容を発表いただき共有を図りたいがよろしいか。

グループ協議の進め方について、事務局より説明をお願いしたい。

【事務局】

まず、机上の付箋紙に、それぞれ委員の立場の視点で、勝間田高校の未来に向けて、本校と地域共に高め合える点、あるいは実質面での協働できる点、あるいは現状の問題点など、1件につき1枚ずつ自由に記入し、その後グループで、記入した付箋紙を貼りながらカテゴリ分けし、ご協議いただきたい。そして、最後にグループごとの協議内容を発表いただきたいので、発表者を最初に決めていただきたい。

(個別に意見を付箋紙に書き出す時間を5分設け、その後15分グループ協議)

【議長】

それでは、グループでの協議内容を共有したい。Aグループより順番に発表いただきたい。

【Aグループ】

生徒の学びが地域のために貢献できることだと考える。現在も行っているノースヴィレッジや役場での植栽、小・中学校との連携、アグリ魅力化プロジェクト、さらにボランティア活動など若い力を発揮してほしい。

現状の問題点としては、まず生徒募集である。遠いところから入学を希望しても察がないので諦めざるを得ない。また、進級できない生徒がいるということ。さらに、弓道部以外の部の活性化を望む。今後へ期待したい。

【Bグループ】

勝間田高校は、県北の人からは悪いイメージで、県南の人からは知名度がなく知らない。PR活動をさらに進めることが必要。そのために、中学生へのPRとして、チラシなど紙で配ることで保護者も知ることができる。また、教育の見える化・可視化を進めるために、小中学校との交流をさらに増やしていくこと、さらに、専門性を生かして企業との協働事業をすすめることや、スマート農業など現代に求められることを取り入れ、こんなことが学べる学校なのだアピールすることも必要との意見が出た。

【Cグループ】

学校の設備を地域へ開放したり、地域の特産品開発をしたりと、ものづくりプロジェクトを進めて

はどうか、また、姫新線存続のためにも勝間田駅のPRなど勝央町と共に盛り上げるためのイベントを企画することが地域の活性化にもつながるのではないかと、そして、就職先や進学先を一般の人へ知ってもらうために、校内で配布している進路便りをデジタル化して公開し、バックナンバーをいつでも見られたり発信したりしてはどうかとの意見が出た。さらに、地元企業に協力してもらい、インターンシップや企業見学をもっと盛んにし、生徒全員が見学に参加したり、インターンシップにも何回でも参加したりと、地域と共に人材育成が進められるとよい。また、例えばゴミ拾い大会など、地域と生徒と共に企画してボランティア活動をし、それをニュースなどマスコミに取り上げてもらうとよいのでは。そして、地域の困りごとに高校生が対応する取り組みなどもしていくのもよいのではないかと、との意見が出た。

【校長】

貴重な意見をいただき、ありがたい。今年度中にできること、来年度に向けてできることなどを整理し、すぐに取り組めることは実行していきたい。

【議長】

スクールミーティングのテーマが「入ってよかったと言える学校」とあるが、「勝間田高校でこれを学びたいから来たい」と思ってもらいたいし、そうなるような取り組みをしてほしい。そのためにも、今後も委員の皆様の協力をいただきたい。

5 閉会行事

(1) 事務局より

①第3回学校運営協議会について

2月下旬で調整

②その他

高校生探究フォーラム 2022 の案内